

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】紀の川市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
43	2010.07.30			和歌山県	紀の川市	67,862	228.24
構想の要約		紀の川市は、持続可能なまちづくりの基盤となる農業を、バイオマスの活用や、地域の高齢者・障害者をはじめ様々な人々が農業に関わり続ける仕組みの構築と合わせ、環境福祉産業への充実を図り、ごみの減量化・軽量化及び再資源化並びに資源循環型社会の構築のため、地域住民や地元企業と連携して、食品資源や汚泥、家畜排せつ物、木質資源、農産資源物等のバイオマスの効率的な利活用を体系化するとともに、人的・知的資源を有する地元の大学や地元産業界・行政との連携及び地域の高齢者や障害者の循環型社会への参加等、将来にわたって持続可能な社会システム構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1. 生ごみ・動植物性残さ・収集剪定枝・刈草等の利活用 2. 廃食用油の利活用 3. 製材工場残材・建設廃材の利活用 4. し尿汚泥の利活用 5. 古紙・紙くずの利活用 6. 稲わら・もみ殻・果樹剪定枝の利活用 7. 菜の花プロジェクト					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(紙再資源化)		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

7. バイオマスタウン構想の利活用目標

利活用目標

- ◇ 廃棄系バイオマス 86%
- ◇ 未利用バイオマス 46%

(単位：t/年、廃食用油はkl/年)

バイオマス	賦存量		変換・処理方法	仕向量		利用・販売	利用率
	重量	炭素換算量		重量	炭素換算量		
<廃棄物系バイオマス>							
家畜排せつ物		813			813		
肉用牛	6,045	361	たい肥化	6,045	361	たい肥	100.0%
採卵鶏	5,952	355	たい肥化	5,952	355	たい肥	100.0%
ブロイラー	1,629	97	たい肥化	1,629	97	たい肥	100.0%
食品廃棄物		242			5		
一般家庭系	4,814	213	飼料化	0	0	飼料	0.0%
事業系	649	29		112	5		17.3%
廃食用油		151			136		
一般家庭系	45	32	BDF化	41	29	BDF	90.7%
事業系	167	119	飼料化	150	107	飼料	90.0%
汚泥		153			0		
下水汚泥(濃縮汚泥)	1,842	11	たい肥化	0	0	たい肥	0.0%
し尿汚泥(脱水汚泥)	1,848	142		0	0		0.0%
木質系		3,763			3,444		
剪定枝・刈草	472	105	たい肥化・チップ化	401	89	たい肥・チップ	84.8%
製材工場残材	10,200	2,272	チップ化	9,690	2,158	チップ・燃料	95.0%
建築廃材	2,303	1,014	再資源化・炭化	1,958	862	再資源・炭	85.0%
古紙・紙くず	1,251	372	再資源化	1,126	335	再資源	90.1%
廃棄物系合計		5,122			4,398		85.9%
<未利用バイオマス>							
農作物等非食用部		1,948			845		
稲わら	5,594	1,602	たい肥化	2,238	641	たい肥・マルチ	40.1%
もみがら	1,210	346	たい肥化	714	204	たい肥・マルチ等	59.0%
木質系		2,455			1,179		
果樹剪定枝	9,451	2,105	チップ化	4,725	1,053	たい肥・マルチ	50.1%
林地残材	1,572	350	チップ化	566	126	チップ・製品加工	36.0%
未利用合計		4,403			2,024		46.0%

バイオマスタウン構想概要図
 (バイオマスタウン構想書からコピー)

3) 取組工程

種 別		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 以降
構 想	バイオマス利活用推進体制の確立	構想策定		タウン構想の推進		
	バイオマスタウン構想の実施計画の策定	各分野の実施計画の策定				
廃 棄 物 系	生ごみ・動植物性残さ・収集剪定枝・刈草等の利活用	収集体制の検討・利用方法の検討 処理施設の検討				
	廃食用油の利活用	利活用の一層の推進				
	製材工場残材・建設廃材の利活用	利活用の一層の推進				
	し尿・汚泥の利活用	利活用の一層の推進				
	古紙・紙くずの利活用	利活用の一層の推進				
未 利 用	稲わら・もみ殻・果樹剪定枝の利活用	利活用の一層の推進				
	林地残材の利活用	利活用の一層の推進				
資 源 作 物	菜の花プロジェクト	栽培の推奨				

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)